

Ⅲ－3. 大学院（放送授業）

ここからは、全体との比較で当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

大学院については、専攻プログラム別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点は、当該科目について回答された項目が5%以上となったものを掲載した。

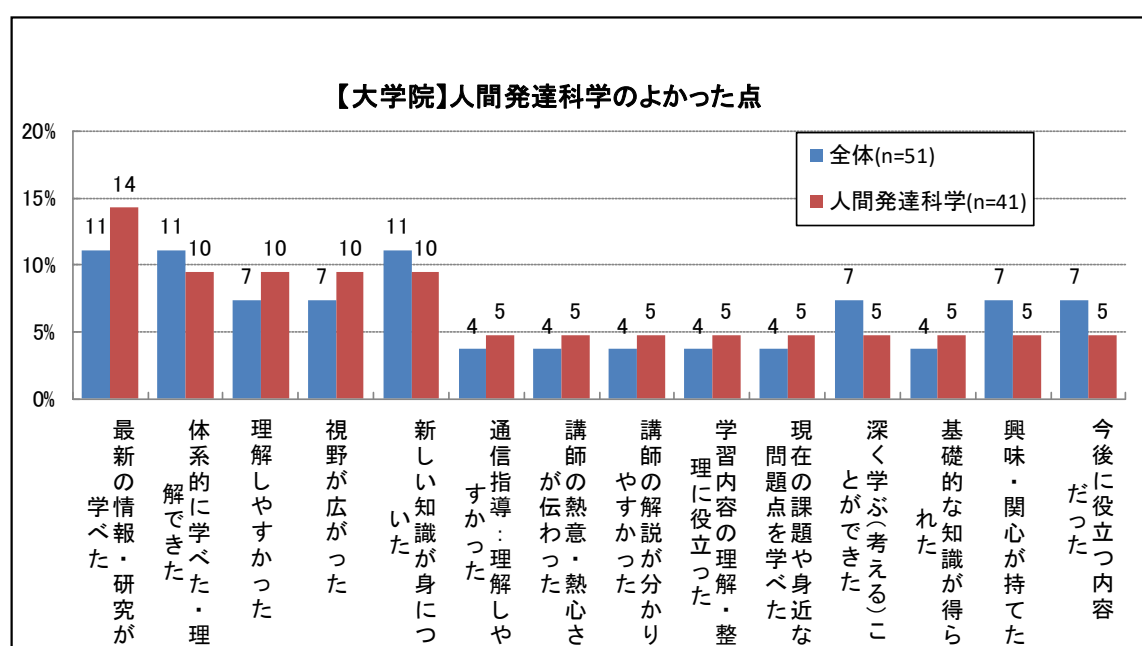
改善点は、当該科目について回答された項目のうち、5%以上、または上位5項目について掲載した。

【大学院】「人間発達科学」の傾向

よかった点

「最新の情報・研究が学べた」が14%と最も高く、次いで「体系的に学べた・理解できた」、「理解しやすかった」、「視野が広がった」、「新しい知識が身についた」10%で続いていた。

図4－1 【大学院】よかった点

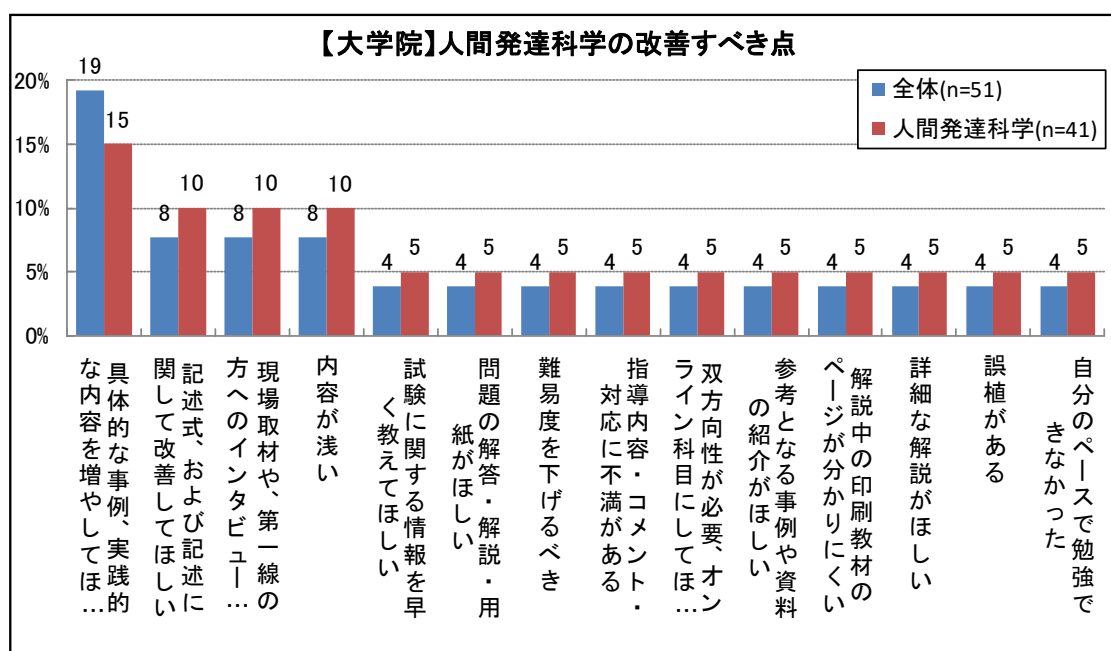


【大学院】「人間発達科学」の傾向

改善点

「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が15%と最も高かった。そのほかでは、「記述式、および記述に関して改善してほしい」、「現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい」、「内容が浅い」が10%で続いていた。

図4-2 【大学院】改善すべき点



【大学院】「人間発達科学」 抜粋

よかった点

- 教育行政の課題点や、賛否の判断のつきにくい事項について一般にメディアやインターネットで言われていることから一段深く知ることができました。教育に携わる仕事をしていながら「教育行政」は外からだとわかりにくく、様子については人から断片的に聞くのみでしたので、体系的に学べてとても良かったです。今後も仕事で教育問題に関わる上で、生徒児童や保護者からの視点だけでなく行政側の知識と視点を持つことができました。そのことは武器になると思います。また個人的に教育行政に興味を持ちましたのでさらに学び続けたいと思っています。
- 教育に対する実情認識、課題と対策に対する再確認ができたこと。
- 教育心理学を網羅的に学べた点。
- 最新の状況が取り上げられている
- 最新の知見でした。
- 校長として勤務していますが、教育行政での経験もあります。その経験をもとにしても、本科目はさらなる視野の広がりをもたらしてくれました。
- 私は教育の理論的な内容は全くの素人でしたので、とてもいい刺激になりました。特にマクロ的な内容に関心があるのでピッタリでした。
- 教育行政と学校経営について、最新の情勢・情報を反映した内容で、とても興味深く、学ぶ意義を大いに感じました。
- 前回も同じ科目を履修したが、今回は新しい情報が含まれており勉強になった。
- 仕事と関連した内容が多いため理解がしやすい。
- 質問箱での質問に丁寧に対応してくださいました。
- 教育委員会制度について深く学べて良かった
- 興味のある分野の学びを深めることが出来た。
- 教育行政の歴史や背景など概ね知ることができた。
- 心理学について、知らないことを学べた。
- 児童生徒教師の心理について学ぶことができて、今後の学校生活に大いに活かせると思います。
- 教育心理学の基本を、学部レベルよりも高い水準で修めることができた。
- 現職教員ですが、実際の指導場面でも児童の発達特性に戸惑うことが多いです。今回の学びで、その戸惑いが少しだけ晴れるような気がします。
- 教員の経験があるので、知識の再習得が出来たところです。通信指導の時期に多忙でしたので未提出ですが、後期に試験が受けられるので、後期に通信指導を提出して、1年間通しでやろうと思います。
- 学校現場で働いているが、生徒指導や学校心理学についてはよく知らなかったので理解がとても深まった。授業の基本的な理論も知ることができ、今後仕事をする上で納得してすすめていけると思った。
- 先生方の熱意が伝わり授業の度に感動を覚えました。取り扱われている教育現場を具体的にイメージしながら、課題や問題解決について深く考察する手がかりを得ることができました。
- 学校教育における授業の原理の基礎が学べたとともに、心理的アプローチを知ることができたので受講して良かったです。

改善点

- 印刷教材をなぞるだけでなく、印刷教材には書いてない説明を加えていただけた時、理解の深まりを感じました。印刷教材を読めばわかる部分もあるので、例えば「〇〇ページの〇行から〇行までの内容を詳しく話します」等、解説に軽重をつけても良いかと思います。軽く扱った部分が聞きたかった方は質問箱を利用すればよいので。
- 大学院科目としてもっと深い内容を期待します。
- 教育行政の方をゲストとして招き、その経験を語ってもらうことは画期的だったと思います。このような、普段お話を聞けない方からの情報提供は極めて貴重です。ぜひこのような機会を広げていただきたいと思います。
- ゲストをもう少し呼んでいただけるとわかりやすいかもしれません。特別支援教育を実践している現場教員など
- 現代の教育行政のしくみや課題成果などについて分量を増やしてほしい
- テレビ番組などを多用し、できるだけ具体的な事例が見えるようにしていただけるとよいと思います。
- パワーポイントでスライド表示をしつつ、ネット動画配信をしていただいた方が理解が進むと感じた。
- 強いて言えば2倍速でも聴けたらと思いますが1.5倍でも十分です。
- 上記同様、大学院科目としての内容の深化を期待します。
- 音声のみのラジオ配信よりも、テレビ番組のようなクオリティーは求めないので講師の先生自身によるネット動画配信にしてほしい。
- 試験に出るポイントの解説などがほしい。
- 終講試験が難しすぎる。
- 認定試験の学習の時間が取れなかったのも、余裕をもって取り組むべきだったと反省しています。
- 受講内容と単位認定試験問題特に選択式の問題が限定的で、余りにも専門的すぎる。問題文の内容を読解するのに時間を要する。本選択問題を正答できて本当に講義内容を理解していると言えるのか疑問。いっそのこと全部、記述問題にしたらと提案したい。
- 通信指導が択一型だったため、単位認定試験も択一型だと勘違いし、単位認定試験の受験期間が短いことを認識せず、単位認定試験を受けられなかったことが自身の反省点です。自分の不注意を改善することが第一ですが、もし可能であれば、通信指導の設問の最後に、記述型の設問サンプルをつけていただけると、(添削や評価はいただかなくとも)記述型のことを意識して単位認定試験の準備ができてありがたいです。
- 通信指導の結果、単位認定試験の結果をもとに出た評価が厳しいと感じた。
- この授業内容に関する具体的な現状に対する分析データと、記載されている取り組みに対する評価データがあれば、納得の程度が向上すると思います。
- オンライン授業の方が分かりやすいです。
- この科目に限った話ではおそろくないのですが、放送したものをもう一度しっかりと確認する必要があると思いました。たまに同じような文言が続くことがあったので。それは印刷教材の誤字などにも言えると思います。
- オンラインでの講義の中で、テキストのどの部分の話をしているのかがわかるようにすると、放送内容をテキストで確認しながら進めるのでよいのではないかと感じた。

【大学院】「人間発達科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
最新の情報・研究が学べた		3	3
新しい知識が身についた		2	2
視野が広がった		2	2
体系的に学べた・理解できた		2	2
勉強になった		1	1
今後に役立つ内容だった		1	1
興味・関心が持てた		1	1
基礎的な知識が得られた		1	1
深く学ぶ(考える)ことができた		1	1
理解しやすかった		1	1
現在の課題や身近な問題点を学べた		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の解説が分かりやすかった		1	1
理解しやすかった		1	1
講師の熱意・熱心が伝わった		1	1
通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
学習内容の理解・整理に役立った		1	1
通信指導:理解しやすかった		1	1

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい		3	3
内容が浅い		2	2
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい		2	2
関連する科目・基礎科目を開設してほしい		1	1
自分のペースで勉強できなかった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
解説中の印刷教材のページが分かりにくい		1	1
参考となる事例や資料の紹介がほしい		1	1
双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい		1	1
誤植がある		1	1
通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容・コメント・対応に不満がある		1	1
記述式、および記述に関して改善してほしい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
詳細な解説がほしい		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難易度を下げるべき		1	1
記述式、および記述に関して改善してほしい		1	1
問題の解答・解説・用紙がほしい		1	1
試験に関する情報を早く教えてほしい		1	1

主な改善点の提案:集約

具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい
内容が浅い

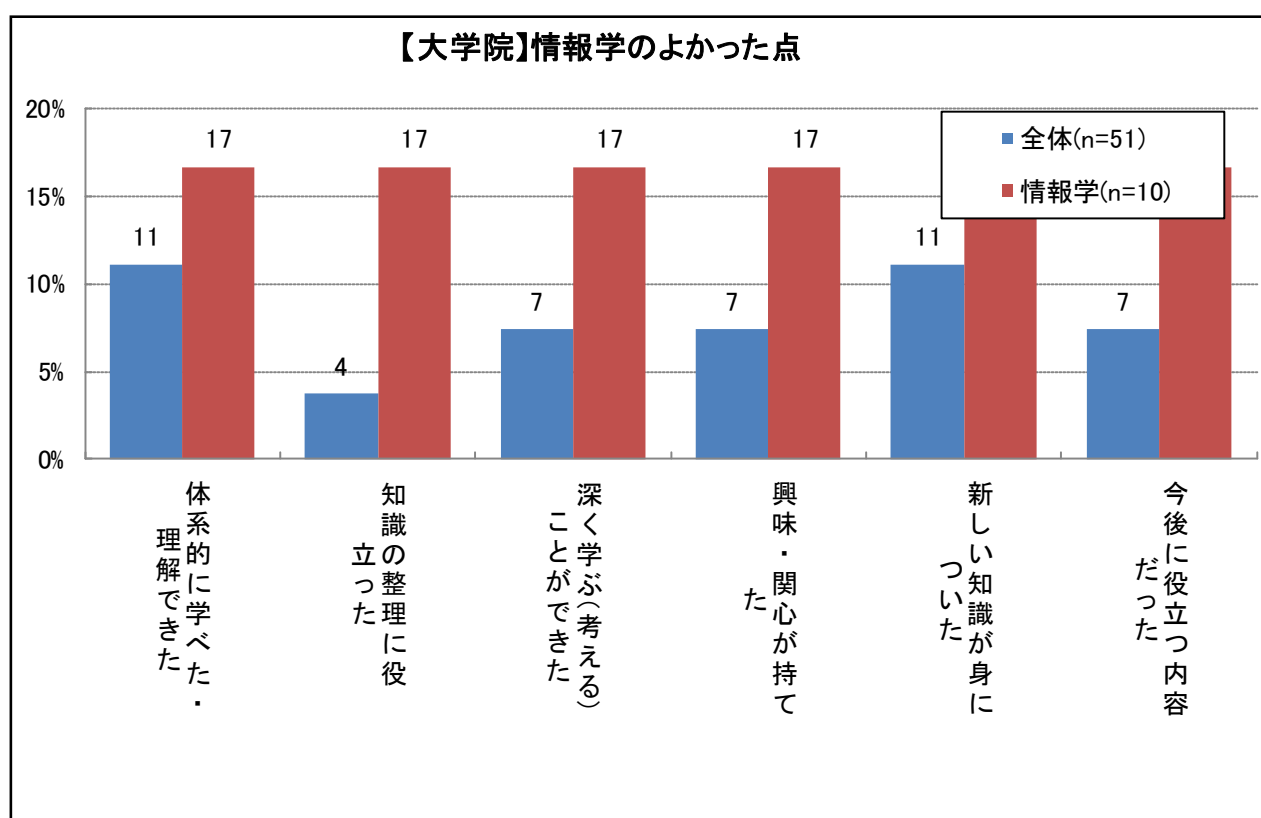
- 単位認定試験:試験に関する情報を早く教えてほしい
- 単位認定試験:問題の解答・解説・用紙がほしい
- 通信指導:記述式、および記述に関して改善してほしい
- 単位認定試験:難易度を下げるべき

【大学院】「情報学」の傾向

よかった点

「体系的に学べた・理解できた」、「知識の整理に役立った」、「深く学ぶ（考える）ことができた」、「興味・関心が持てた」、「新しい知識が身についた」「今後に役立つ内容だった」がそれぞれ17%と同水準となり、それぞれ全体を上回っていた。

図4-3 【大学院】よかった点

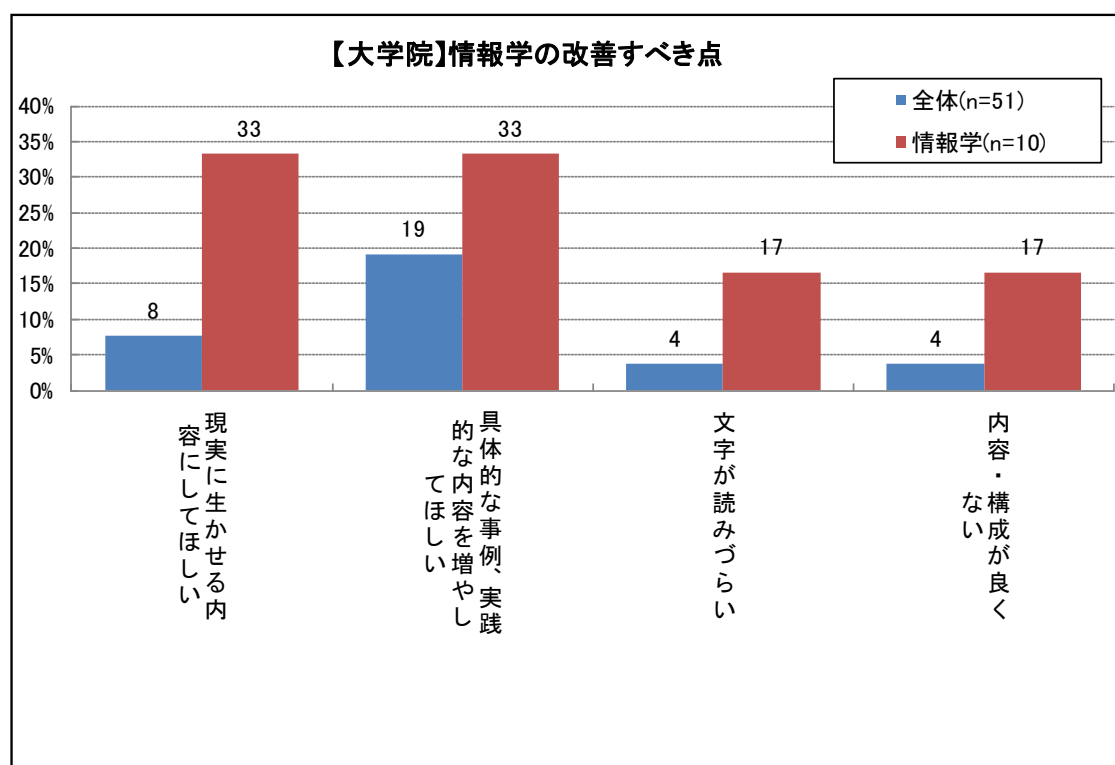


【大学院】「情報学」の傾向

改善点

「現実を生かせる内容にしてほしい」、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」がそれぞれ 33%と最も高く、「文字が読みづらい」、「内容・構成が良くない」が 17%と続いていた。また、それぞれ全体を上回っていた。

図 4－4 【大学院】改善すべき点



【大学院】「情報学」 抜粋

よかった点

- システム要求に対する一つの統一した内容を学習でき、自身の知識、経験との比較ができ、興味深かった。
- 仕事で関わるシステム開発について、整理して学ぶことができた。講師 1 名でなく、講師と聞き手、という進め方は分かりやすかった。
- 要求工学を体型立てて学べたこと。
- 要求工学の理解が深まった
- 情報関係の科目を毎年度 1 科目以上取得を目指し、新しくできたこの科目を受講しました。ありがとうございます。
- ユーザインタフェースを主として勉強しようとし、その足掛かりを得られた点

改善点

- 印刷教材の紙質が薄く、前のページの文字などが透けてギリギリ見えるか見えないかという状態だった。そのため、老眼が始まりかけている自分としては、そうした透けた文字と、本当に読まなくてはならない文字を判別して読むのがやや困難だと感じた
- 後半の要求定義手法の内容については、手法だけではなく、その運用方法を含めた内容にすることで実践に向けての取り組み方が考えられるのではないかと感じた。
- 数理的な手法を用いる章に関しては、ラジオではなくテレビなどで映像を用いて詳細に解説を加えた方が良いと感じた
- 学問としての要求工学と実践に向けての要求工学は、各現場の状況により違いが発生すると考える。その点のフォロー内容があれば、実践的な学問として取り組めるのではないかと考える。
- 図表などがあるので、ラジオではなくテレビにしてほしい
- 授業は非常に分かりやすかったが、印刷教材との連携が不明瞭だった。復習で印刷教材を見ても、授業を思い出せない箇所もあった。
- 9 章～10 章、構造帰納法、時相論理、代数、モデル指向型言語 Z、性格指向型言語 CafeOBJ、11 章形式手法による検証は、何度放送授業を聞き、印刷教材を読んでも理解できなかった。数学的知識のない人には高度すぎ、活用できない内容だと思った。計算方法を知っていると何がよいのかわからなかった。これらを使って、現実世界でどう活用されているのかに焦点を当ててほしい。説明の中の具体例は、買い物で身近な内容だが、簡素すぎて、現実世界から遠いと思った。

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
今後に役立つ内容だった	1		1
新しい知識が身についた	1		1
興味・関心が持てた	1		1
深く学ぶ(考える)ことができた	1		1
知識の整理に役立った	1		1
体系的に学べた・理解できた	1		1

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	2		2
現実に生かせる内容にしてほしい	2		2

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良くない		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
文字が読みづらい	1		1

主な改善点の提案:集約	
現実に生かせる内容にしてほしい	
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	

- 放送授業: 内容・構成が良くない
- 印刷教材: 文字が読みづらい

Ⅲ－４．大学院（オンライン授業）

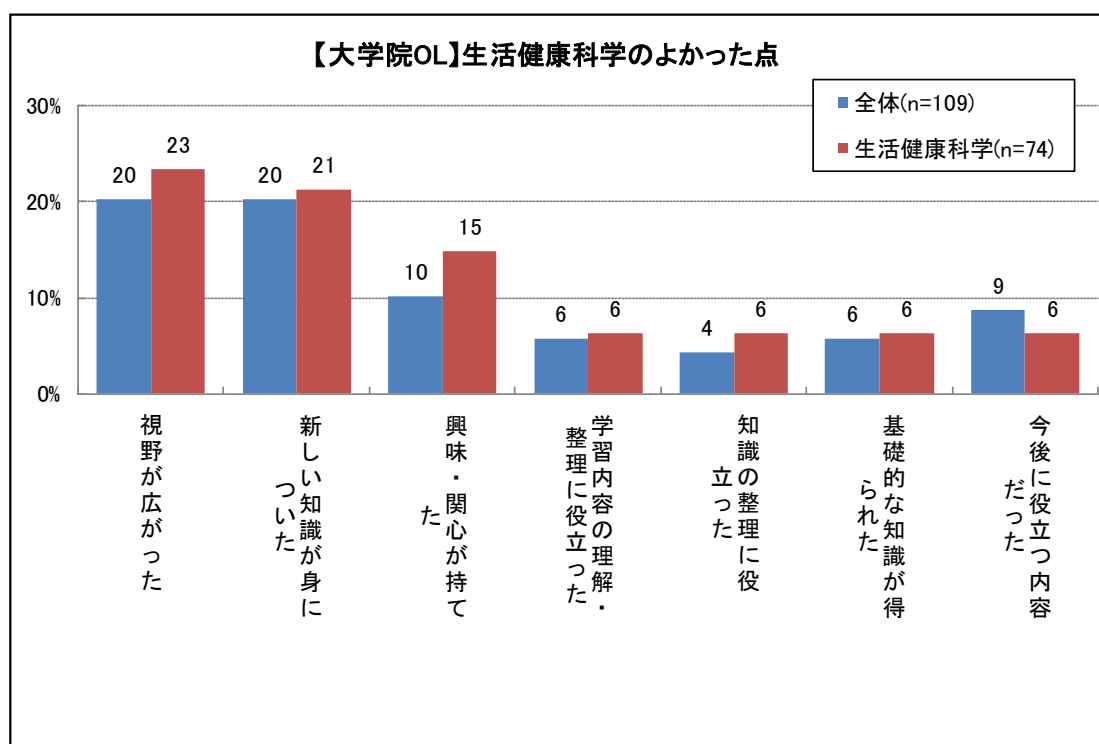
ここからは、大学院オンラインの全体との比較で、当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

【大学院 オンライン】「生活健康科学」の傾向

よかった点

「視野が広がった」が23%と最も高く、「新しい知識が身についた」が21%、「興味・関心が持てた」が15%と続き、それぞれが全体を上回っていた。

図４－１３【大学院 オンライン】よかった点



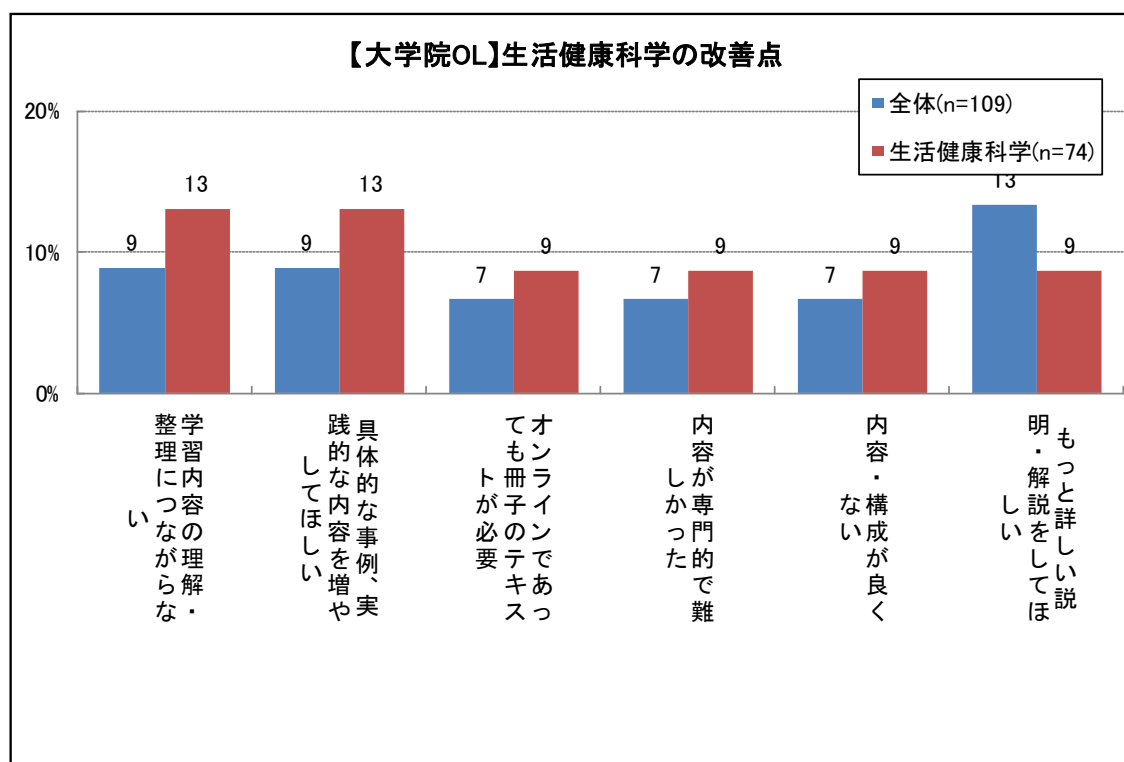
【大学院 オンライン】「生活健康科学」の傾向

改善点

「学習内容の理解・整理につながらない」、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が13%と最も高かった。

他には「オンラインであっても冊子のテキストが必要」、「内容が専門的で難しかった」、「内容・構成が良くない」、「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」が9%と続き、「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」以外は全体を上回っていた。

図 4 - 1 2 【大学院 オンライン】改善すべき点



【大学院 オンライン】「生活健康科学」 抜粋

よかった点

- 当初私が考えていた「福祉」像があまりに小さい範囲にすぎないことを痛切に学べたことを大変感謝している。教材としてもよく練られており、もっと深いところまで講義をしてほしいと感じた項目がほとんどであった。今後は関係した内容が学べる講座を見つけて研鑽を継続させたいと考えている。
- 高齢化社会の中で介護保険のあり方について考えさせられる内容だった。まだ修士の研究においては先であるが、やってみたいと思う内容だった。
- 健康という内容を多角的に学習することができました。自身の一生に関わる知識も多く学べたため、非常に実りのある科目でした。
- 健康に対する概念と見方がわかった。
- 福祉の視点からだ毛でなく、公衆衛生学の視点から、コミュニティケアを考えられたのは新鮮であった。
- 私は社会福祉・医療系の知識はまったく皆無ですが、とても分かりやすかったです。特に第 12-13 回医療経済学のお話は興味深く、楽しかったです。第 14-15 回の先輩がたにより、論文作成方法のお話がとても有用でした。選科生はアカデミックスキルズを履修できないのですが、そのかわりになる授業でした。
- 研究手法についての言及もあり自分の研究に相当役立った。星先生のご自宅の例が出され、本当に親しみが持てた。高気密、適湿住宅に投資します！講師の皆さんの視聴者を思いやる気持ちが言葉の端々に出ていてやる気ができました。
- 星先生のお話が、とても良かったです。写真を交えてくださり、どこだろう？と検索したこともありましたが、授業はわかりやすく、とてもデータの重み、研究に基づく結果が聞けて感動したのと、その結果の裏にはものすごい人の手を介してまとめられたのであろう苦労は語らず、知りたい情報は満載で良かったです。実際手法はこれから私たちが対面するのですが、その調査にかかわりたくないような内容でした。ぜひ健康学を学びたいです。ありがとうございました。
- 私が育った地元に戻ったタイミングで受講しました。これからの私の仕事の拠点は”地域”でしたのでとても興味があり受講しました。オンデマンドを利用し回数を重ねて聴講したいと思います。
- 知らないことを知ることができて、よかった。
- 昨年 1 学期の「生活変動と社会福祉」の復習となった。修士論文を書く上で、課題や考え方についてヒントが得られた。
- 社会福祉に関し、歴史的視点から現在の状況、問題点など幅広く網羅され、各研究者のお話も聞くことができ、とても勉強になっただけでなく、先生方の生き方や学問への熱意も学ぶべきところが多くありました。社会福祉学を知れば知るほど、困窮する人々の存在や問題が解消されない日本の現実に苦しくなることさえありました。日本の福祉分野が先進的な問題解決を計っている世界の国々に比較して大きく遅れを取っているだけでなく、政治、経済等その他の分野でも遅れていると感じ、日本人は根本的に問題解決への方法や考え方を抜本的に刷新すべき時に来ているのではないかと等々、派生する様々なことに思いが及びました。
- 大学時代は情報系の学部にあたため、社会福祉の基本がまったく分からない状態でした。この科目を受講し、社会福祉を広く学ぶことができて、とてもよかったと思います。
- 講師の伝えたいと考えられる部分が、熱意とともに伝わり、とても役立つ科目でした。ありがとうございました。
- 社会福祉を研究する上での視点を得ることができたと思います。
- 今後の学びの方向性を考える上で有意義なご示唆をいただくことができて良かったです。ありがとうございました。
- いろいろな先生方がその詳細なご専門のお話をされ、最終的に山田先生がまとめられるという方法は思想的に偏った方向には進まず、安心して学習できました。
- 毎回のゲストの話に興味深く学ぶことができました。知らないことも多くありましたが自分の知っていることはより深く知ることができました。また研究に繋げる視点も授業の中に組み込まれていて自分ならどうするか、と研究する当事者意識を持ちながら参加することができました。

改善点

- 履修条件ではないがオンライン学習に加え、教科書の講読を勧めるとより幅広い学習ができる。
- わかりやすい補助教材が必要だ。
- 小テストで同じ問いが難問があった。
- すべての回、分かりやすく有用でした。将来正科生となり、修士論文を作成するさいにも役立つ内容が多く、この科目を履修してよかったと思います。ただ一部の回で、資料をただ読上げるだけの授業があったことは残念です。授業では、資料には記載されていない、先生の経験・お考えをお聞かせいただきたいです。
- コミュニティケアに関わる住民(当事者)のインタビュー動画などがあると、更にイメージが湧きやすくなるような気がしました！
- 情報が年単位で更新されるので、新しい部分だけでも追加があるとよいと思う。
- 具体的な事例をもっと多く入れてほしかった。
- 最終課題の課題文自体について、学び始めた当初大変苦悩しました。私は全科生ではないためです。選科生にすぎない私のため、修士論文を作成するチャンスが与えられていない。今回の最終課題の課題文は明らかに修士論文を作る人たちを前提とした課題文となっており、「修士論文書くわけでもないのに…」と大学側に質問をしたが、期待するようなご回答を受け取れず、ディスカッションに当たる交流フォーラムで散々書き込みをしあいながら学習を進めた。その点が大変心残りの科目だったと今振り返って感じています。
- もっと課題を増やしても良いと思う。
- とても理解しやすく、また、山田先生の上品な語り口がとても素敵で良かったです。特に第 14-15 回の今井小の実先生との対話は、印象的でした。今後も、どうか資料を読み上げる授業ではなく、先生のリアルな言葉が聞けるような授業を行っていただきたいです。
- 最後に山田先生のお話にもありましたが、「理論」についての扱いがあれば、良かったと思います。
- 操作場面のスライドは見にくかったです。
- 同様の内容を QGIS でサクサクとできたらどんなに良いかと考えます。
- 最終レポート課題の K-means 法の仕組み、バイプロットおよびレーダーの意味について、もうすこし解説があった方がよい。
- ディスカッションをもう少ししたかったと思います。ツールの扱い方や考え方はわかったのですが、もともと文系で数式の意味があまりよくわからなくて。ディスカッションの場の一つ投稿したのですが、ほかに投稿する人もいなかったのも、遠慮してしまいました。
- 細部にわたる説明の不足は、ないと思っているが、反対に、全体が見えにくくなってしまっている。今どの位置にいるのか、わからないので、全体の処理フロー図が欲しかった。各タスクとの関連性が見えていなかった。
- 自然地理に関わる GIS の利用事例の内容がもう少しあるとよりよいと感じました。
- 大木幸子先生の講義は難しかった。
- テキストにしてほしい。
- 研究計画を作成しておりますが、研究ノートを作成にあたって大変参考になりました。今後自分自身も研究ノートを作成しようと考えております。できるだけ研究初期段階で本講義を受講し、早期に研究ノートを取り入れておけばと考えております。
- 講義映像が長かった。
- 15 回すべてプリントしましたが、やはりテキストが欲しいです。
- シラバスには、必要なツールを自分で準備、操作できること、とはなっているが、それでも講義内での解説が必要最低限しかないように感じる。ArcGIS で解説通りの操作をしたつもりでも、表示される内容（位置座標）が小テストの選択肢の数値とは全く違っていたりして困惑したが、改善方法は結局思いつかなかった。

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
視野が広がった	11	講師の解説が分かりやすかった	1
新しい知識が身についた	10		
興味・関心が持てた	7		
今後役立つ内容だった	3		
基礎的な知識が得られた	3		
知識の整理に役立った	3		
内容・構成が良かった	1		
楽しかった	1		
理解しやすかった	1		
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	3	図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2	学習の進捗状況がわかる画面がほしい	1
内容・構成が良くない	2		
内容が専門的で難しかった	2		
例題・練習問題を増やしてほしい	1		
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	1		
内容が浅い	1		
最新の内容を講義してほしい	1		
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		
現実に生かせる内容にしてほしい	1		

主な改善点の提案:集約

- 講義ノート・テキスト: 学習内容の理解・整理につながらない
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 講義ノート・テキスト: オンラインであっても冊子のテキストが必要

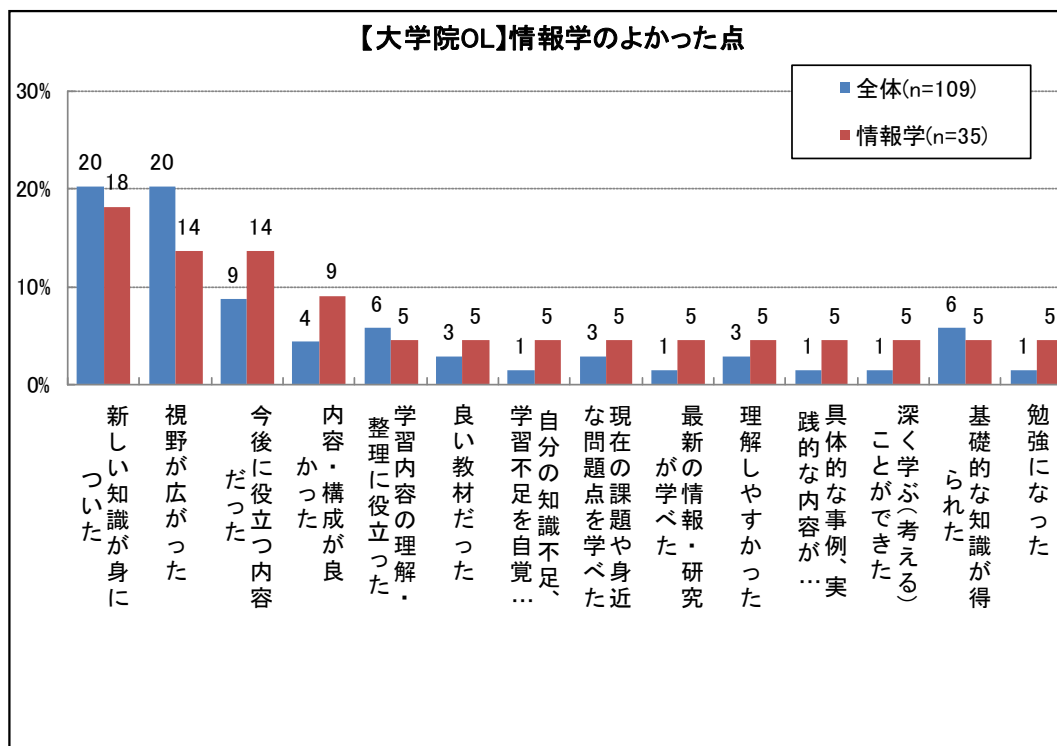
- 内容が専門的で難しかった
- 内容・構成が良くない
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 講義ノート・テキスト: 良い教材ではなかった

【大学院 オンライン】「情報学」の傾向

よかった点

「新しい知識が身についた」が18%と最も多く、「視野が広がった」、「今後に役立つ内容だった」が14%、「内容・構成が良かった」が9%と続いていた。

図 4－15 【大学院 オンライン】よかった点

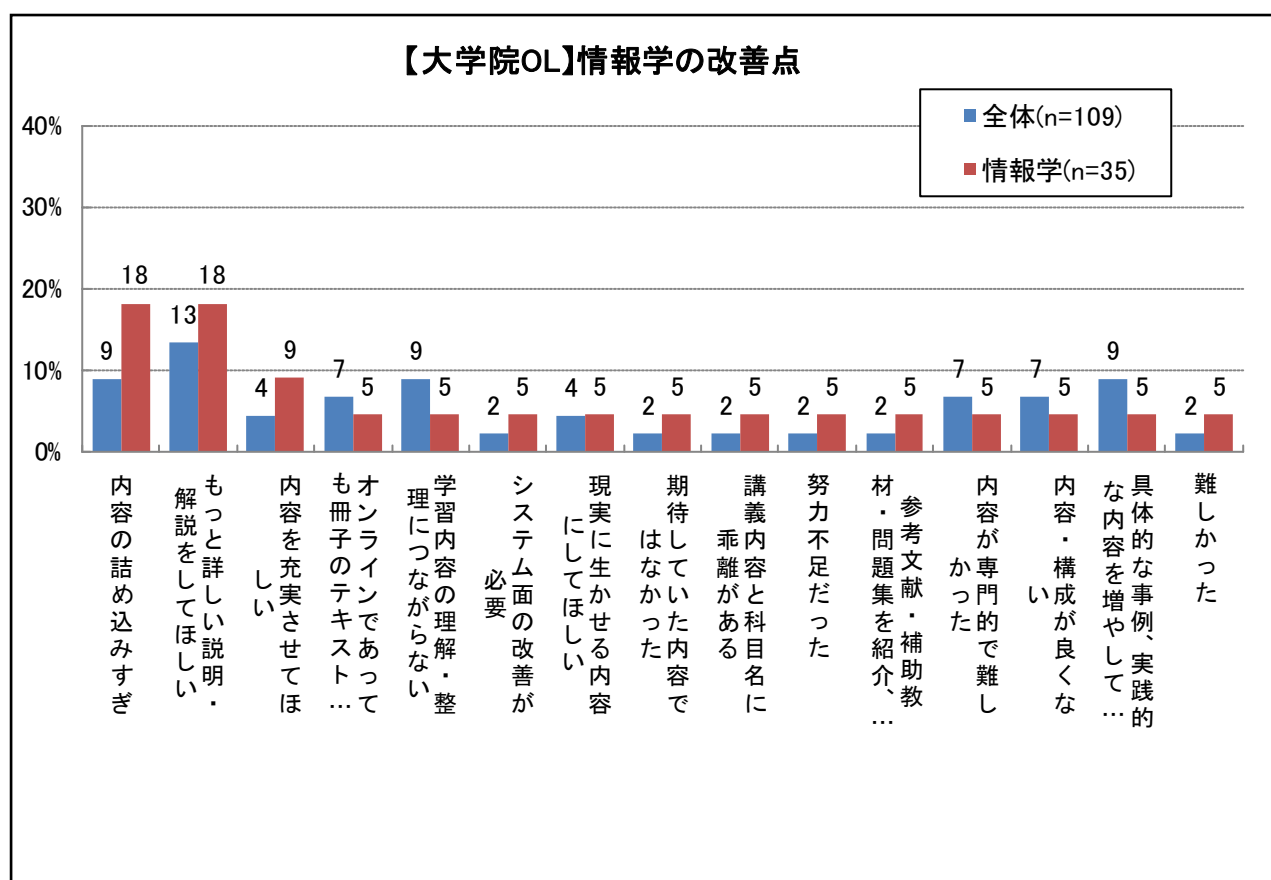


【大学院 オンライン】「情報学」の傾向

改善点

「内容の詰め込みすぎ」「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」が18%と最も高く、「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」「内容を充実させてほしい」が9%と続いていた。また、それぞれが全体を上回っていた、

図4-16 【大学院 オンライン】改善すべき点



【大学院 オンライン】「情報学」 抜粋

よかった点

- e-learning について様々な視点でアプローチしており、この分野におけるトピックのインデックスを作ることができた。
- 現代的な教育の手法や課題について知ることができた。
- 知らなかったことも多かったが、理解できることで視野が広がった。考えなければならない課題が多く、鍛えられ、レベルが向上している実感があった。
- 知らない分野だったので、とても勉強になりました。
- 知らなかったことが知れた
- ビデオが1本あたりとても短く集中力がかけることなく視聴できました。全体的に論理的に構成もよく考えられて作成されているコースでした。
- 今まで漠然としたイメージとしてのみ捉えていた e ラーニングの基礎について理解と納得が深まった
- 世の中の新しい流れがわかって良かった。授業期間が終わっても復習を続けたい。
- 将来、数学を聞こえない子供に遠隔教育をすればいいのか、バリアフリー教養大学に教員として採用されたとき、どのように教えればいいのか、などいろいろと考えることができた。
- 2020 年以降に編成されたコースデザインだったこと。情報が新しかったこと。
- 私は作業療法士養成校の教員をしています。通常の授業の組み立てや学習支援の内容の組み立ての際に、e ラーニングを使用したと考えていました。その為この科目からさまざまなヒントを得ることができました。
- 今の仕事、研究に直接活かせる内容が多く大変参考になった。自分の価値観、考え方がラーニングデザインに基づいていることに気づくなど、メタ認知の機会になった。
- 義務教育との違いを見つける事ができました。
- 未来の教育の方向性を指示していただけて良かったです。
- 様々な講師の方が担当されることで、様々な学習内容を見聞きしたり、様々な課題の出し方を経験したりできた点。
- 実際の E ラーニングをしながら E ラーニングの理論と実践でよく理解ができた。
- 新しい知識が増えた。実際にやってはいても理論的に知らないことも多かったので勉強になった。スライドを提示してもらったのはありがたかった。印字はしなかったが Word ファイルに学習内容と一緒に添付できた。
- e ラーニングという方法の目的は「個別最適化学習」である、という普遍的な命題が再確認できて良かったです。また、e ラーニングについて色々考えているうちに、「e ラーニングでは、教師への人間的信頼感・尊敬の念って湧くのかな？有った方が良さそうだけど。」という疑問が「発見」できたのは、うれしいです。なお、Moodle を実体験できたのは、良い経験になりました。
- 自分は今まで「教育」に関する専門講座を一度も受けたことが無かったので、教育理論に関する様々な知見が得られたのが収穫だった。
- わたしが、この講座を受講した目的は、紛争地域の子どもたちが、学校に行くことができてないということを現地の人から聞いていて、そこから、e ラーニングはどうだろうか？と、思って、受講しました。

改善点

- 課題が同プログラムの他の科目の数倍の物量で、正直詰んだかと思った。2 科目くらいに分けてもよいのでは？
- 少し、難しいと感じた。
- 知識の羅列に終始していると感じてしまった。暗記科目といっていいほど、情報量が多い。申し訳ないが、全てを正確に記憶する価値は無いと考える。理由は、類似した理論が乱立し、それを細かく紹介されている、という印象を持ったためである。
- 相互評価が負担が大きいなと思いました。結果的に 10 本のレポートを評価しなくてはいけなかったもので、ワークショップあたり 3 本ぐらいに減らしてもらえれば、もう少し丁寧に評価できたと思います。また教師からのフィードバックが全く、自動採点が多いので、個人的にフィードバックは難しいかもしれませんが、全体フィードバックでもあればモチベーションが保てるなと思いました。
- ただでさえ学習のモチベーションを保つのに苦労しているのに、小テストで〇〇の可能性があるのでこの答えは・・・とか当てはまらないものを選べとかそういう問題はやめてほしいです。私の注意不足なのは認めますが、内容の理解とは違うところで減点されて、最後まで学習をすすめられるか怪しくなってきました。
- フォーラム投稿が実名で公表されることに敷居が高いと感じた。投稿をためらう気持ちは最終回まで続いた。レポート課題が多くて時間のやりくりが大変だった。逆に小テストはもう少し多くても良かった。理解に役立つから。
- ディスカッションの仕方がわかりにくかった。
- 動画のスク립トを PDF で配布してほしいです。動画の視聴後、徐々に記憶が薄れてくるので、思い出す際に動画を再視聴しないで済みます。動画だけだと、自分の知りたい情報がどこにあるかをピンポイントで探し当てるのが難しいです。
- 新たな知識を沢山学ぶことができました、改善すべきと感じる点はありませんでした。
- 個人的にはレポート課題の分量が多く、他の授業科目と比べてもハードでした。
- ・小テストの設定に誤りが多かった。誤りがあること自体は仕方ないと思うが、それを適切にお認めにならず、こじれた様子も交流フォーラムから伺え、学習者としてのモチベーションにも関わると感じた。・レポート等の課題が多いように感じた。課題自体は、しっかりと取り組む必要があると思うが、他の科目と比べても、受講するのに時間がかかった。
- 改善すべきだというわけではないが、個人的にはピア評価の判断がなかなか難しいと感じた。あくまで参考程度のもとはいえ、レポートを評価するという経験が殆どない自分にとっては、正しく判断できているだろうか、自分が内容を理解できていないだけではないだろうかなども考えた。
- ビデオが短いときがあるので一つ一つまた次に行くのが少し面倒であった。そのまま同じ回のを全部聞ける機能があればいいと思う。
- 1. 「個別最適化学習」は出来ないでしょうか？第 4 回「マルチメディア学習」のような、具体的な平易な図解事例による解説をもっと多用していただくと、モチベーションも維持でき、「私にとっての個別最適化学習」に近づくのではないかなと思いました。2. 小テストは事前に ChatGPT の「お告げ回答」を確認してから、出題する、あるいはややこしそうなのは引っ込めるという選択をされたら良いのではないかなと思いました。
- 「視聴メモ」に講師が口頭で述べたポイントの記載がないことが残念。
- 提示される授業資料が、授業回によって違うこと。個人的には、ChatGPT との対話を通して学習を深めたいので、動画のスク립トはテキストデータで欲しかった。
- 小テストのうち、一部の講義で、小テストが 2 問のみの出題があり、プレッシャーがかかりミスしてしまうことがあります。問題数を他の講義と整合をとられてもよかったと考えます。小テストの初回得点で評価が決まるのは、プレッシャーが大きいです。練習問題を増やし、その中からランダムに出題するような形態もご検討いただければ幸いです。

よかった点

(単位:人)

科目全般		講義ノート・テキスト	
意見	合計	意見	合計
新しい知識が身についた	4	良い教材だった	1
今後に役立つ内容だった	3	学習内容の理解・整理に役立った	1
視野が広がった	3		
内容・構成が良かった	2		
勉強になった	1		
基礎的な知識が得られた	1		
深く学ぶ(考える)ことができた	1		
具体的な事例、実践的な内容があった	1		
理解しやすかった	1		
最新の情報・研究が学べた	1		
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	1		

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	4	システム面の改善が必要	1
内容の詰め込みすぎ	4		
難しかった	1		
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	1		
内容・構成が良くない	1		
内容が専門的で難しかった	1		
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	1		
努力不足だった	1		
講義内容と科目名に乖離がある	1		
期待していた内容ではなかった	1		
現実に生かせる内容にしてほしい	1		

主な改善点の提案:集約

内容の詰め込みすぎ

もっと詳しい説明・解説をしてほしい

●講義ノート・テキスト:内容を充実させてほしい

講義ノート・テキスト

意見

合計

内容を充実させてほしい	2
学習内容の理解・整理につながらない	1
オンラインであっても冊子のテキストが必要	1

●講義ノート・テキスト:オンラインであっても冊子のテキストが必要

●講義ノート・テキスト:学習内容の理解・整理につながらない

●オンライン教材:システム面の改善が必要

現実に生かせる内容にしてほしい